

授業科目名(英文名)	インターンシップD (Internship D)
担当者名	廣田 篤彦
学年	2
教科書	なし
目的または到達目標	<p>建築家・建築技術者として建築設計を行うにあたって、建築物の設計又は工事監理に係わる実践的な能力を培う。</p> <p>設計・工事監理に係わる実践的業務内容の修得を主たる課題とする。</p> <p>実習先は、設計・施工を担う工務店・ゼネコン等とする。</p> <p>インターンシップA～Cで学習した成果を踏まえ、実施設計、工事監理業務に実践的に係わることにより、建築の設計・施工の業務全般を理解する。</p> <p>指導は現場で実務に携わる建築士が行う。</p>
授業内容	<p>I 実施設計の学習 (第1日目～第10日目 :8時間/日)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施設計に関する資料の収集 2. 設備設計・構造設計との協議に参席 3. 建築一般設計図の作成 4. 実施設計に関する模型製作 5. 仕様書作成に関する学習 6. 確認申請手続の学習 7. 工事予算書に関する学習 <p>II 工事監理の学習 (第11日目～第20日目 :8時間/日)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築詳細図の作成 2. 詳細模型の製作 3. 施工図の検査承認に関する学習 4. 現場説明書の作成 5. 現場説明への参席 6. 現場工事に関する協議に参加し、工事監理業務を学習する 7. 完了検査に関する学習 <p><ガイダンス・報告会等を除く実時間 計160時間></p>
関連科目	インターンシップA、インターンシップB、インターンシップC
受講心得	実習先の指示に従うこと。無断で遅刻欠席をしないこと。身だしなみや言葉遣いに留意すること。
課題・質問等の受付方法	随時
授業の形式	学外実習です。
履修上の注意または履修条件	<p>建築学科を卒業した者のみを対象とします。</p> <p>実習開始後に履修を中止することはできません。</p> <p>一級建築士試験の実務経験要件を、事前に確認の上、受講して下さい。</p>
成績評価の方法	<p>規程時間の実務及びレポートの作成を必須とします。</p> <p>実習先の評価を基に、上記条件の充足率などを考慮して、総合的に評価を行います。</p>

参 考 文 献 及 び
指 定 図 書

申し込み時に配布される受講の手引きを参照のこと。